

**2021.11.14**

**ニリンソウ自生地保護活動情報**

赤塚公園ニリンソウを守る会

akatsukanironso@gmail.com  
赤塚公園サービスセンター  
03-3938-5715  
編集責任：運営サポーター／木村  
090-8646-9757



**ニリンソウを守る会  
11月、12月の手入れ活動予定**

11/21 雨天予備日 11/28

12/12 雨天予備日 12/19

いずれも日曜日 10:00 大門観察台集合

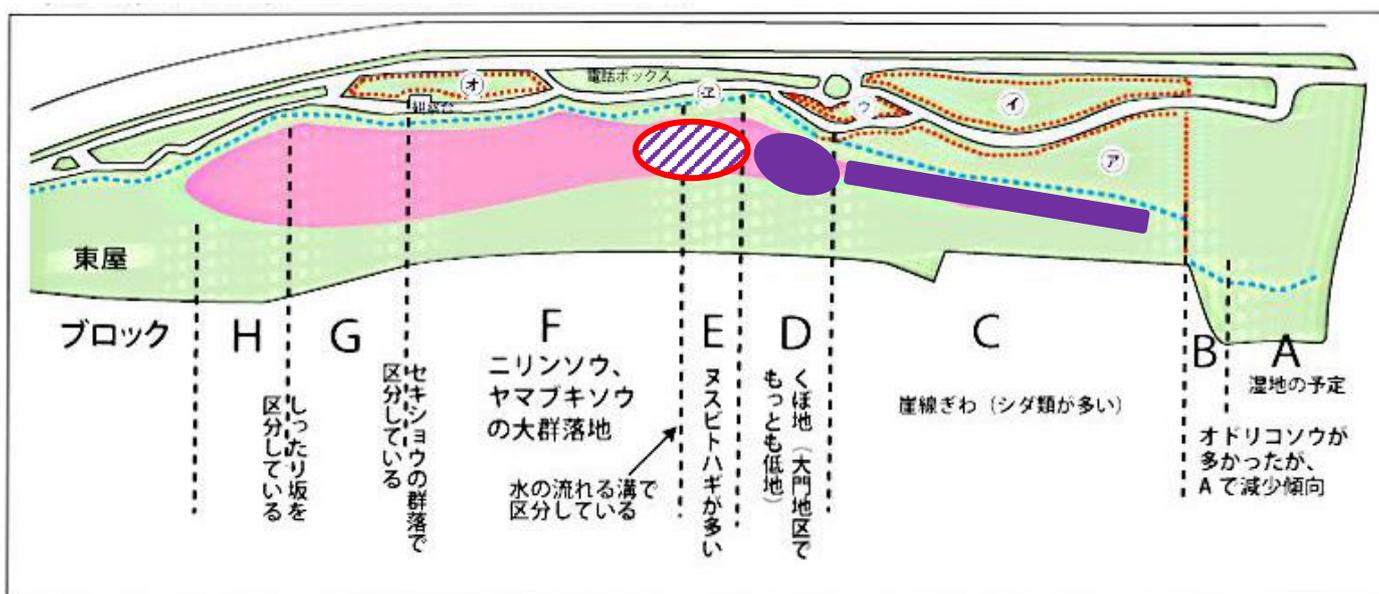
**★誰でも参加できます！ 飛入り参加も歓迎！**

お天気にも、人にも恵まれて  
草刈り作業順調に通り進行中！



**残すべき植物  
に事前に  
マーキング  
してスタート**

今シーズン3回目の手入れ作業になりますが、11/14は16名の参加で下記マップの赤枠斜線部分で作業しました。(紫色塗りつぶし部分は草刈り終了エリア)



このエリアで目立つのはコクサギとキチジョウソウです。いずれも、ニリンソウが葉を展開する2月の半ばごろに、コクサギは若葉を出し始めて地表に日が射すのを妨げてしまうし、キチジョウソウは常緑の草なので、この草の下ではニリンソウが生きにくいのです。夏草が枯れているだけな

らばそのままにして、やがて枯れて倒れて自然と土に還るので、大きな問題にはならないのですが、このコクサギは落葉樹の木本。成長すると林の中が見通せないほどになります。キチジョウソウは草本なのに常緑だから、やっぱり、放っておくとこの草だけになってしまいます。



### なぜ、機械刈りで効率よく刈れないのか？

こう考えれば、いっそのこと刈り払い機を使って、一斉に一掃すればよいじゃないかと思われれます。

実際、今年からは木本のコクサギはサービスセンターのスタッフによる機械刈りに任せることにしたのですが、キチジョウソウは地面の中に根が張り広がっているため、引っ張り抜かないと来年また出てきてしまうのです。そうするとキチジョウソウは手で

抜くのがいちばん。しかも、キチジョウソウに交じって生えているアズマネザサなども刈り取らなければならないので、上の写真のように作業者は手も鎌も使っての草刈り作業になります。

### コクサギもキチジョウソウも悪意を持って生えているわけではありません



それぞれ一生懸命に命を燃やしている自然の生き物です。キチジョウソウは「吉祥草」と書くぐらいだから、昔からこの花を見るとおめでたいことがあると言われてきたし、コクサギはミカン科で、アゲハ蝶の仲間がこの

の葉を食草としているのだから、生物多様性を維持するためには必要な植物です。これまでは「都内最大のニリンソウ自生地」ではコクサギはご遠慮対象として、西側のしっとり坂部分だけを残してきました。今年は、ニリンソウ自生地内にもコクサギの群落を残すように、上の2枚の写真のように囲いをして刈り取らない場所をつくりました。抜き残しはあるし、他の場所では生え放題になっているので、3年ぐらいしたら、またいっばいに復活してくることでしょう。

### 作業中に珍しい草を発見！

↓シダ植物のオオハナワラビです。胞子を付けた部分が途中から折れていますが、赤いリボンを付けておきました。



「保護活動マニュアル」と活動中に観察できる主な花約90種収録の「花の写真集」を参加の方に無料配布！



次回11/21はいよいよニリンソウのメインステージの草刈りです。奮ってご参加ください。